

長建計第1－31号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

駿東郡長泉町長 遠藤日出夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日ごろから長泉町道路行政に御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、表題の平成20年9月19日付け国道企第37号による依頼について、別紙のとおり回答いたします。

建設計画課計画グループ

担当 大川・森

電話 055－989－5520

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県長泉町

当町における都市計画道路の整備率は、約 40%(平成 20 年 3 月 31 日現在)と低く、特に人口集中地区の整備が遅れているため、近年の交通量に対応できず、生活道路への通過車両の進入しているため、交通渋滞が頻繁に発生している。

①新東名高速道路、伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路)等の高規格幹線道路の整備

国土の大動脈であり、大都市圏との連絡強化を図るだけでなく災害時の代替路としても重要な役割をなす新東名高速道路を始め、高規格幹線道路ネットワークの早期完成をお願いしたい。

②上記道路のインターチェンジへのアクセス道路整備

上記の新東名高速道路、伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路)のICにアクセスするための道路整備についても、引き続き御協力願いたい。

③地域の課題に的確に対応するため、地方公共団体の道路整備財源の充実強化

真に必要な地方道路の整備を進めることを目的とした、地方道路整備臨時交付金の継続をお願いしたい。

④交通安全の向上

通学路の歩道についても、安全・安心な歩行空間の形成をお願いしたい。交通安全施設整備事業について、今後も地方道路整備臨時交付金の継続をお願いしたい。

⑤JR御殿場線下土狩駅周辺における生活環境の向上、バリアフリー化

JR御殿場線下土狩駅は、利用者数 5,000 人／日未満のため、バリアフリー化がなされていない。エレベーター設置等のバリアフリー化、駅前広場の交通結節機能強化を図るため、支援をお願いしたい。

○現状 ○JR御殿場線下土狩駅周辺における生活環境の向上 下土狩駅は長泉町の中心であり、町の発展を支えてきた駅であるにもかかわらず、バリアフリー化がなされていない。高齢者、障害者を始めとした利用者が不便を感じている。 ○複雑で分かりにくい道路環境 幹線道路の整備が遅れているため、道路が複雑でわかりにくく生活道路に通過車両が進入してしまい、交通渋滞が発生するなどの問題が生じている。 ○歩道の未整備・狭小の通学路 住民がいつでも安全かつ安心して通れる道路を、通学路を中心に整備していく必要がある。	○課題 駅へのエレベーター設置、駅前広場等の交通結節機能の強化を進めたい。駅利用者数が5000人／日に満たないが、バリアフリー化の必要性は高い。 街路整備事業による幹線道路の整備促進。幹線道路ネットワークの形成。 交通安全施設等整備事業による歩道確保・拡幅を目的とした通学路の安全性向上。
---	--

当町は、新幹線三島駅に隣接しており、東名高速道路、国道1号、国道246号等を擁し、交通の要衝にある。

さらに、国土交通省が東駿河湾環状道路、中日本高速道路が新東名高速道路を整備しており、町内にインターチェンジもでき、交通の利便性が飛躍的に向上することが見込まれる。

静岡県、町が整備しているアクセス道路と連携を図ることにより、骨格道路と生活道路が区別されるので、自転車及び歩行者と、車両の分離がなされ、交通事故も減少すると考えられる。

① 幹線道路ネットワークを活用した企業誘致を始めとしたまちづくり推進

静岡県立静岡がんセンター周辺に、ファルマバレープロジェクトに基づく医薬品・医療機器産業を中心とした産業のまちづくりを推進すべく、幹線道路ネットワークを構築し、他地域、周辺地域からのアクセスの向上を図る。

② 住民の生活優先の道づくり

長泉町は人口が4万人を超える町であり、人口増加率も高い。周辺に交通の拠点が多く、今後さらに交通量増加が予想される。交通渋滞対策等を目的とした幹線道路整備はもちろんのこと、住民の目線を第一に、通学路を中心とした交通安全の向上を図っていくものとする。

③ 健康づくりを目指した道づくり

静岡県立静岡がんセンターを中心としたファルマバレープロジェクトの中心となっている当町は、健康づくりにも力を注いでおり、都市計画道路以外にも、歩道設置を目的とした道路整備も行っている。歩行者ネットワークが完成することで、ウォーキングコースとしても活用できるため、多くの住民が健康づくりのために利用でき、病気の予防という観点からも重要な施策として位置付けられている。

さらに、新たな健康づくり拠点施設を町の中心部に計画しているため、ユニバーサルデザインに配慮した歩道整備も重点的に進めていく。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

静岡県長泉町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・新東名高速道路や東駿河湾環状道路の供用開始が近づいており、広域間の移動がスムーズになる。 ・静岡県立静岡がんセンター周辺での、ファルマバレープロジェクトに基づく企業誘致を促進するため、(都)池田柵線、(都)高田上土狩線等の整備による幹線道路ネットワークの構築を図る。	・交通渋滞が解消されることにより、CO₂の削減や、経済的損失の減少に繋がり、様々な分野での可能性が広がる。 ・健康関連産業が集積することにより、医療の質の向上、新産業の創出、地域企業の活性化が図られる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	交通安全施設等整備事業による町道城山尾尻線、町道下長窪駿河平線の道路拡幅(歩道設置)。	現在、本道路は狭小かつ交通量が多く、また通学路に指定されている路線である。道路拡幅により、通学者を始めとした住民の安全性が向上する。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	JR御殿場線下土狩駅のバリアフリー化、駅前広場の改良による交通結節点整備。	駅利用者の利便性が向上し、少子・高齢社会に対応した環境整備が図られる。コンパクトシティーのまちづくりの推進に繋がる。	